勝ち目ない戦いなぜ

日系米兵　沖縄戦 兄弟で敵味方に　学徒兵

第2次大戦末期に多数の住民を巻き込んだ沖縄戦で、米兵と日本軍の学徒隊として敵味方に分かれて戦った兄弟がいる。23日は沖縄で70年前に組織的戦闘が終わったとされる「慰霊の日」。「日本はなぜ勝ち目のない戦いに突き進んだのか」。日系米国人の兄は、弟と対峙しなければならなかった戦争を問い続けている。

「憎しみはなかった」

儀間真栄さん（90）＝米ハワイ在住＝と、弟の昇さん（87）＝沖縄県宜野湾市在住＝は戦前、ハワイのオアフ島で沖縄出身の両親の間に生まれた。小学2年生の時、沖縄県玉城村（現在の南城市）に住む祖母らの元で暮らすように言われた真栄さんは「友達と離れたくない」と断った。代わりに引き取られたのが、幼少の昇さんだった。

1941年12月7日（日本時間8日）、日本軍がハワイの真珠湾を攻撃。両親は昇さんをハワイに引き戻そうとしたが、間に合わなかった。「家族に見捨てられたのか」。真栄さんは、昇さんが絶望していたと後から聞いた。

昇さんは当時のことについて「日本が負けるはずがないという教育を受けていた」と語り、ハワイに帰りたいと言い出せる雰囲気ではなかったことをにじませた。

米国内では、日系人に対する差別や偏見が強まった。祖国への忠誠を示すため米軍に志願した真栄さんは、米軍が沖縄本島上陸を開始した約1カ月後の45年4月29日、陸軍情報機関（MIS）所属の米兵として読谷村に上陸した。

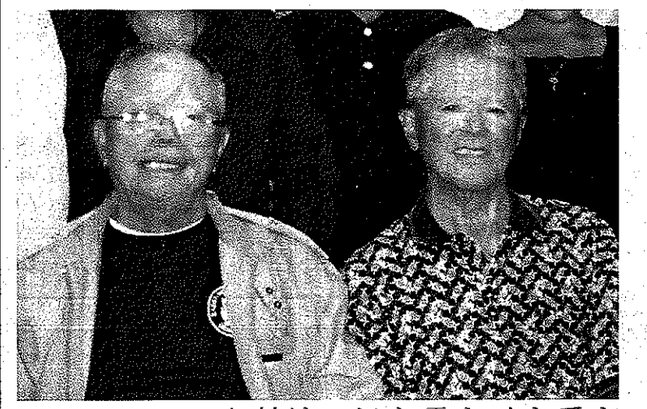
「昇を捜す」と決意していた。「弟は自分の代わりに沖縄に来た」という負い目もあった。5月も終わり、戦局は悪化した。手掛かりはない。

「生きているだろうか」

ハワイの収容施設で、捕虜の写真の中に見覚えのある顔を見つけた。「弟だ」。沖縄の男子学徒らで結成された「鉄血勤皇隊」として従軍していた昇さんは、米軍に捕まり5月に収容施設に送られていた。真栄さんは昇さんを米国市民として扱う手続きを進め、釈放につながったという。

戦争が終わった。真栄さんはハワイで昇さんの肩をたたき「また会えてうれしい」と語り掛けた。返ってきた言葉は覚えていない。昇さんは「兄弟だから憎しみはなかった」と回想した。

（ホノルル共同＝上西川原淳）



儀間真栄さん（右）と昇さん＝2005年ごろホノルルで撮影（儀間真栄さん提供・共同）

「読み解く力」試す

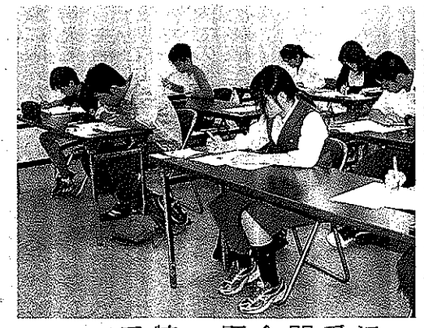
本社で時事能力検定試験

ニュース時事能力検定試験が21日、全国一斉に行われた。県内では北日本新聞社を会場に、受検者約40人がニュースを読み解く「時事力」を試した。日本ニュース時事能力検定協会、北日本新聞社など主催。

受検者は難易度ごとに五つの級に分かれて受検。試験時間は50分間で、政治や経済、社会など幅広い分野の問題に取り組んだ。

最難関の1級では、特定秘密保護法やアジアインフラ投資銀行（AIIB）などに関する問題を出題。社会保障給付費についての記述問題もあった。

合否の結果は7月中旬に知らされる。



検定問題に取り組む受検者＝北日本新聞社

石井知事や消費者団体代表者らがエコライフ推進を誓った大会＝グランドプラザ

レジ袋削減10億枚 さらなる推進誓う

富山で大会

循環型・低炭素社会の実現を目指す「エコライフ・アクト大会」が21日、富山市のグランドプラザで開かれた。2008年度からのレジ袋の無料配布廃止により、県内で削減された袋が14年度末までに計10億7810万枚を記録し、記念キャンペーンが同日から始まった。県内の消費者団体代表者らがエコライフ推進を誓い、意識を高めた。環境とやま県民会議、県、とやま環境財団主催。

キャンペーンでは削減への協力に感謝の気持ちを示し、取り組み参加店にポスターや缶バッジを配布して今後のさらなる協力を呼び掛ける。参加店で使えるプレミアム商品券も秋までに発行する。

大会では石井知事があいさつし横山栄県議会議長が祝辞を述べた。県環境部門功労（環境保全分野）を受けた栃津川

事業計画を決定

後縦靱帯骨化症患者家族会

県後縦靱帯骨化症患者家族会（渡辺国臣会長）は21日、富山市障害者福祉プラザで総会を開き、事業計画を決めたほか、専門医と意見交換した＝写真。

後縦靱帯骨化症は、脊柱を縦に走る靱帯が骨になって脊髄を圧迫し、知覚障害や運動障害を引き起こす病気。国の難病指定を受けている。

事業計画では、交流会で親睦を深める。同会顧問の川口善治富山大医学部准教授が研究の現状などを説明した。

同会は会員を募っている。問い合わせは渡辺会長、電話0766（52）1790。

「みとり」に対応 援助士養成へ

横浜の在宅医ら協会設立

高齢化に伴い亡くなる人の数が増えていく中、自宅や施設で穏やかな最期を迎えられるよう、横浜市の在宅医らが「みとり」に対応できる人材の育成を目的に「エンドオブライフ・ケア協会」（東京）を設立した。

約1500人を在宅でみとった経験を持つ「めぐみ在宅クリニック」（横浜市）の小沢竹俊院長が中心となり、7月から医療や介護従事者向けに2日間の養成講座を開く。初回の講座は都内で開催予定。

修了後、実際に患者らに対応し、リポートを提出すれば「エンドオブライフ・ケア援助士」として認定する。

小松―ソウル便運休へ

大韓航空

大韓航空は21日、小松―ソウル便を7月1日から1カ月間、運休することを明らかにした。韓国で中東呼吸器症候群（MERS）の感染が拡大している影響で、搭乗予約のキャンセルが相次いだためとみられる。大韓航空は「需要見通しを踏まえて決めた」と話している。

【関連記事5面】

同路線は週3往復している。8月の予約は受け付け「現段階では、通常通り運航する予定」としている。既に受け付けた7月の予約は全額返金したり、他の空港発の便に振り替えたりする。

ソウル便をめぐるシアナ航空の富山の期間運休が検討される。

プレミアム商品券を求め、列をつくる人たち＝氷見水産センター

プレミアム商品券 大人気

県内2市で発売

氷見　朝から長蛇

氷見商工会議所は、入額に20％を上乗買い物ができる一付きプレミアム商売した。取り扱っンターとプラファグセンター、パッの3カ所には朝から列をつくり、用セットは午前中で22日も午前10時からットを発売する。

発行総額は1億2日間で千円券の

砺波

砺波市プレミアム券「チューリップ販売が21日、砺波と庄川町でわれた。つき2千アムが付初日は3うち約5500セット。残りから砺波

プレミアムを買い求＝砺波

富山地・所長に永

総括判事57＝など22日付人事永野氏は愛媛県屋大卒。1983

富山名産
菊
キク印
ご進物に
ご贈答用に
かまぼこ

県内のグル新品種発見

富山で

全国のサクラ

門知識を持つ人櫻学会（中村輝子